



劇団

風の子中部

多治見文庫連絡会主催事業

ちいさな頃 お母さんの胸で聴いた こもり唄
おばあちゃんが話してくれた むかしばなし
ともだちと一緒に唄った わらべ唄
その時拭いていた風の音、木々の声、不思議な音…
そんな いろんな“あったかい”や“おもしろい”を
おしばいにしてみようと思います。

赤ちゃんでも演劇が楽しめます！

手遊びやわらべうたで一緒に過ごしましょう♪

いろはに
うた

7月18日 (土)

10:45開場 11:00開演

【会 場】ヤマカまなびパーク
7階多目的ホール

【定 員】100名

【チケット】大人500円 3歳～高校生以下300円

【申込み】6月11日(木)10:00～

図書館カウンターまたは多治見文庫連絡会

【主 催】多 治 見 文 庫 連 絡 会

【共 催】多 治 見 市 図 書 館 22-1047

【連絡先】今井 090-8671-1510

山口 090-7672-0531

松田 090-8557-0827

ちいさな頃 お母さんの胸で聴いた こもり唄
 おばあちゃんが話してくれた むかしばなし
 ともだちと一緒に唄った わらべ唄
 その時吹いていた風の音、木々の声、不思議な音…
 そんな いろんな“あったかい”や“おもしろい”を
 おしばいにしてみようと思います。

風の子 中部

いろいろな おはなし

わらべうた

いろいろあそび

いろんなモノをころがしたり
 ふくらませたり、飛ばしたり…
 のぞいてみたら…何が見える？



いくつかのプログラムを組み合わせて上演します。

音あそび

いろんなモノをたたいてみると
 チン！カン！

ぼふっ ぱん！！
 いろんなモノをふいてみると
 ぶー、ぶー、
 しゅー、ピッ！



ちいさいおはなし

(空き缶やひもや布、いろんなモノから生まれたおはなし)

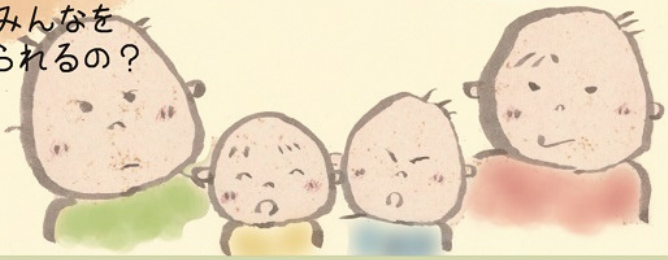
〇おっきいちゃんとちっちゃいちゃん

「あそぼ！」「いいよー」
 いつも一緒にあそんでいる2人
 でも、なんだか今日は…



〇そっと、ふー 作・河野真理子

夜が明けました。
 鳥たちがいろんな声で朝をしらせています
 ぼくもやさしくみんなを起こしてあげたい！
 そう思ったペリカンくん
 ドキドキしながら声を出すと…
 あれ？！
 ぼく、どうやったらみんなを
 そっと起こしてあげられるの？



このお芝居をつくるにあたって

先日近くの保育園に行った時のこと。普段見慣れない私を見つけ、いろんな子が偵察にやってきました。「だれ？」「なににきた？」「あ、○○ちゃんのお母さんにてるー」ひとしきり質問や感想を浴びせ、嵐のように去っていく子どもたち。と思ったら、一人だけ、二歳くらいの女の子がまだそばにいます。じーっと私を見ています。ただひたすら、じーっと。見つめられた私はだんだんくすぐったい気持ちになつてきます。

「風がきもちいいね」こくん(とうなずく)
 「あ、虫がとんできたよ」(一瞬虫に視線は移り、また私に戻る)

風通しの良い廊下に座り込み、きこえてくる風鈴の音やまわりで賑やかに遊ぶ他の子たちの声に耳をかたむけながら、二人でぼーっと過ごしました。ひたすら、ぼーっと。しばらくそうしてから、彼女はおもむろに手にしていた折り紙を私に差し出してくれました。

「ありがとう」こくん(とうなずく)

子ども(人間)の中に流れている時間はひとりひとり違っていて、こんな風にじつくり観察しながら他者を受け入れていく子、好奇心の趣きままいろんなものをどんどん吸収していく子…いろんな人間がいて、それぞれいろんな気分の時もある、おもしろいなあと思います。日常の中では、大人の事情に合わせたり、みんなと一緒に行動しなきゃいけないことも多くて、結構しんどい時もあるのかなあと思います。

『いろはにこんぺいとう』はそんないろんな色の、つぶつぶ、いばいばの子どもたちがひとりひとり違う感性で笑ったり泣いたり、ぼーっとしたりしながら観られるような、そんな時間と空間がつくりたいと思って始めたお芝居です。人の声と生の音の響きを大事にしながら、子どもたちの笑い声とところどころと響きあって、何だかくすぐったくなるようなお芝居を目指します。